Access

東京から

飛行機で	羽田＿小松〔連絡バス〕福井〔JR越美北線〕大野		約3時間20分
JRで	東京〔新幹線〕米原〔北陸本線特急〕福井〔JR越美北線〕大野		約4時間40分
	東京〔新幹線〕金沢〔北陸本線特急〕福井〔JR越美北線〕大野		**約4時間40分**
高速バスで	東京駅八重洲南口＿＿福井〔JR越美北線〕大野		約9時間

大阪から

JRで	大阪／京都〔湖西線特急〕福井〔JR越美北線〕大野	約2時間50分
自動車で	大阪〔名神高速〕米原JCT〔北陸自動車道〕福井IC〔国道158号〕大野	約3時間20分
高速バスで	大阪市阪急三番街高速バスターミナル＿福井〔JR越美北線〕大野	約4時間30分

名古屋から

自動車で	一宮〔東海北陸自動車道〕白鳥IC＿＿〔国道158号〕＿＿大野	約2時間
	名古屋〔名神高速〕米原JCT〔北陸自動車道〕福井IC〔国道158号〕大野	約2時間40分
JRで	名古屋＿＿〔北陸本線特急〕＿＿福井〔JR越美北線〕大野	約3時間10分
高速バスで	名鉄バスセンターJR名古屋駅＿＿福井〔JR越美北線〕大野	約3時間50分

宿泊のお問い合わせ

(一社)大野市観光協会	〒912-0081 福井県大野市元町10-23	☎0779-65-5521
国民宿舎パークホテル九頭竜	〒912-0217 福井県大野市角野14-3	☎0779-78-2326
ホテルフレアール和泉	〒912-0207 福井県大野市下山63-2-24	☎0779-78-2536

お問い合わせ

大野市商工観光振興課
〒912-8666 福井県大野市天神町1-1
TEL (0779)66-1111

(一社)大野市観光協会
〒912-0081 福井県大野市元町10-23
TEL (0779)65-5521

平成29年3月

結の故郷 越前おおの

山ガイド

大野市

荒島岳

あらしまだけ

標高 1,523.5m

大野盆地の南東にそびえる荒島岳。その山容から大野富士とも呼ばれ、福井県内で唯一、日本百名山に選ばれた名峰です。荒島岳は白山を開山した泰澄大師によって開かれたともいわれ、古くから信仰の山として崇められてきました。山頂には、今もなお荒島大権現奥の院が祀られています。

一等三角点のある山頂からの眺めは見事の一言に尽きます。周囲をさえぎるものはなく、独立峰ならではの360度の大パノラマが広がります。経ヶ岳や能郷白山、銀杏峰といった周辺の山々だけでなく、白山、さらには遠く北アルプスまで望むことができます。広い山頂には、方位盤が設置されているので、眼前に広がる山々を確認することもできます。

標高700mを超えるあたりから続くブナの原生林も魅力のひとつです。新緑や紅葉はもちろんのこと、巨木のうろなどが登山客を楽しませてくれます。北麓の勝原付近では、深い峡谷の花崗岩や閃緑岩の奇石奇岩によって出来た河床を、九頭竜川の激流が洗う、九頭竜峡谷があります。新緑と紅葉の頃は特に美しく、すばらしい自然景観を見せてくれます。

登山コースは全部で4つ。中でも最もポピュラーなのが国道158号線のすぐ脇に登山口のある勝原コースです。登山道は地元の荒島愛山会により、よく整備されており、大変登りやすくなっています。中出コースは、かつて深田久弥が歩いた登山道です。シャクナゲ平で勝原コースと合流します。登山道はほかにも佐開コースと新しもやまコースがありますが、佐開コースは登山口までの道路状況が悪いため、勧められません。また、新しもやまコースは急な登りが続く健脚向けの登山道です。

登山ガイド

【勝原(かどはら)コース】(登り3時間30分　下り2時間30分)

- 登り口　旧カドハラスキー場　駐車場あり、トイレあり
- 交　通　北陸自動車道福井ICから車で約1時間10分、東海北陸自動車道白鳥ICから車で約50分 JR越美北線勝原駅から徒歩10分
- ｺｰｽｶﾞｲﾄﾞ　まずはかつてのゲレンデだった急斜面を登る。その後、尾根伝いに進むにつれて見事なブナの原生林につつまれる。連続する木組みの階段を登り、やがて視界が開けるとシャクナゲ平に出る。その先にある「もちがかべ」と呼ばれる滑りやすい急な登りでは、クサリやハシゴが連続するので注意が必要。この登りを越えるとダケカンバが見られるほか、斜面はゆるやかになり、笹原に出ると見晴らしもよくなり、やがて広い山頂にたどり着く。

【中出(なかんで)コース】(登り3時間40分　下り2時間40分)

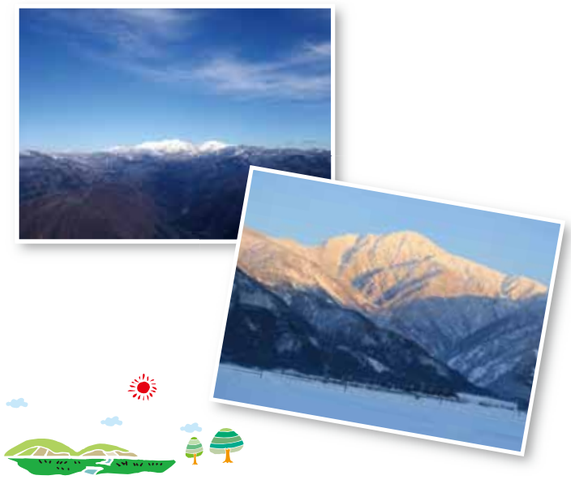
- 登り口　中出集落（大野市蕨生）　駐車場あり、トイレあり
- 交　通　北陸自動車道福井ICから車で約1時間、東海北陸自動車道白鳥ICから車で約1時間
- ｺｰｽｶﾞｲﾄﾞ　なだらかなコースが続きとても歩きやすいコースである。途中標高1,186mの小荒島岳の山頂に行くことができる。小荒島岳との分岐を過ぎるとほどなくしてシャクナゲ平で勝原コースと合流する。

【佐開(さびらき)コース】(登り3時間30分　下り2時間30分)

- 登り口　荒島養魚場（大野市佐開）　駐車場なし、トイレなし
- 交　通　北陸自動車道福井ICから車で約1時間、東海北陸自動車道白鳥ICから車で約1時間10分
- ｺｰｽｶﾞｲﾄﾞ　登り口までの作業用林道はかなり道が険しく、4WD車でないと走行が困難。パンクする可能性も充分あり、作業用林道を歩くことになるが、駐車場等も整備されていないためここからの登山は勧められない。

【新しもやまコース】(健脚向け、登り4時間40分　下り3時間10分)

- 登り口　下山池ヶ嶋地区（大野市下山）駐車場あり（下山地区集会施設）、トイレなし
- 交　通　東海北陸自動車道白鳥ICから車で約40分
- ｺｰｽｶﾞｲﾄﾞ　急なのぼりが続く健脚向けのコース。途中ロープ等が取り付けられているが滑りやすいため注意が必要である。和泉地区側から登る唯一のコースでもある。



イラスト提供：福井山歩会

大野の湯紹介

あっ宝んど

和風と洋風の浴室があり、日替りで男女が入れ替わります。それぞれに露天風呂、サウナ、うすまき湯、寝湯、ジャグジーなどが揃っています。また、替わり湯では、お湯に工夫を凝らしていますのでぜひ入浴してみてください。

☎0779-66-7900　¥大人600円　小学生以下300円　4歳未満無料
営10:00～23:00　休毎月第2火曜日(祝日の場合翌日)

九頭竜温泉平成の湯

勇壮な山々を眺めながら開放感のある露天風呂で、ゆっくりと疲れを癒すことができます。また、泉質はアルカリ性単純泉（アルカリ性低張性低温泉）で全国でも数少ない健康にいい温泉のため、全国各地から利用者が訪れます。

☎0779-78-2536　¥大人600円　小学生以下300円　4歳未満無料
営10:00～21:00　休毎週火曜日(祝日の場合翌日)、1月1日

鳩ヶ湯温泉

山鳩が傷を癒すために水浴にきたのが名前の由来の奥越の秘湯。温度変化で湯面に浮く湯の花は、様々な効能や美肌の効果もあります。

☎0779-65-6808　¥大人600円　65歳以上500円　小学生以下300円
営10:00～18:00　休不定休　※冬季は休業(11月下旬から4月下旬)

六呂師高原トロン温浴施設うらら館

保湿や美肌の効果があるトロンのお風呂や低温の健康サウナ、横になって浸かれる寝風呂などが充実。晴天の夜には満天の星空が楽しめます。

☎0779-67-7007　¥大人600円　小学生以下300円　4歳未満無料
営10:00～21:00　休毎週月曜日(祝日の場合翌日)

～ 心もほっこり♪銭湯へ ～

亀山湯(かめやまゆ)
DATA
■TEL:0779-66-4959
■大野市城町7-18
■営業時間:15:00～23:00
■定休日:毎週月・木曜日

東湯(あずまゆ)
DATA
■TEL:0779-66-2488
■大野市高砂町14-4
■営業時間:15:00～22:00
■定休日:毎週火・金曜日

キューピー湯(ゆ)
DATA
■TEL:0779-66-3613
■大野市陽明町1丁目1302
■営業時間:15:00～22:00
■定休日:毎週水・日曜日

大野市内銭湯共通入浴料
■大人(中学生以上)…430円　■小学生…150円　■未就学…60円

登山の前にcheck! 登山の心得

☑その1 しっかりと計画を立てよう

気温や雨、日差しなど、自然は時期や日によってその表情を変えます。天候の急変などにも対応したしっかりした計画を立てましょう。

☑その2 登山計画書を提出しよう

登山計画書はあなたの命を守る命綱。安心して登山していただくために、登山計画書の提出をお願いします。

※携帯電話から提出できます

☑その3 自分のペースで登ろう

無理なく呼吸を続けられるペースで登ることが大切。また、こまめに休憩や水分補給をとってコンディションを整えるようにしましょう。

☑その4 自然保護

自然を守る為、決められた登山道以外に踏み込まないようにしましょう。

☑その5 自然を壊さない

草木を折ったり、持ち帰ったりしないようにしましょう。(自然公園内では、植物・岩石等の採取は禁じられています。)

☑その6 ゴミは必ず持ち帰ろう(空カン類を含む)

その他

この山ガイドはあくまでも観光向けに作成した簡易ガイドです。登山される場合はあらかじめ、地図や専門的な山岳ガイドブック等をご購入いただき、ご自身の体力にあった計画をたてて登山をして下さい。

そのほか、必要と思われるものはしっかり準備しましょう。

能郷白山

のうごうはくさん

標高 1,617.3m

越前と美濃を分ける山脈の盟主。九頭竜川の支流である真名川の上流、福井県と岐阜県の県境に位置します。かつて白山を開山した泰澄大師が白山の山頂からこの山を眺め、分祠を祀るため開山したと伝えられ、現在も山頂には、白山神社の祠があり信仰の山として多くの登山客が登っています。別名「能郷山」「権現山」とも呼ばれていますが、明治時代に作られた地図には「白山」とだけ書かれたものもありました。

能郷白山は、深田クラブにより日本二百名山に選定されていますが、深田久弥が日本百名山を選ぶ際に、能郷白山と荒島岳の2つのうちから荒島岳を選んだというエピソードが残っています。

県境周囲の山々からなる越美山地のなかでもひときわ高く、山頂からは360度の眺望を楽しむことができます。また、山頂付近の斜面や尾根では、5月頃にカタクリが、また7月頃にニッコウキスゲが咲き誇るお花畑を見ることができます。

登山コースは、福井県側からは温見峠から登るコースが１つあります。登山口には駐車場がないので、駐車の際には通行の妨げにならないよう注意が必要です。また、5月頃まで残雪があるので注意して登ってください。この温見峠から登るルートのほかにも岐阜県側から登るコース（登り約4時間30分）があります。なお、国道157号は落石等により通行止めになることもしばしばあるので、事前に交通情報を確認してください。

登山ガイド

【温見峠(ぬくみとうげ)コース】(登り2時間　下り1時間30分)

- 登り口　国道157号温見峠付近（福井県岐阜県県境）　駐車場なし、トイレなし
- 交　通　北陸自動車道福井ICから車で約2時間10分 東海北陸自動車道白鳥ICから車で約2時間
- ｺｰｽｶﾞｲﾄﾞ　最初の登りから急斜面が続く。途中はロープや木の根を頼りに登ることも。標高約1,490m付近からは登山道はゆるやかになるとともに視界も開けてくる。ゆるやかな傾斜はそのまま最後まで続く。正面に山頂を示す標識が見えればほどなく頂上へたどり着く。

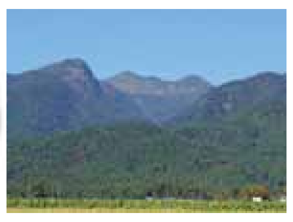
その他

【麻那姫湖青少年旅行村】

麻那姫湖青少年旅行村は温見峠へ向かう途中（真名川ダムの上流付近）にあります。広大な敷地にバンガローやテントサイト、芝生広場などが整備されていますのでぜひお立ち寄りください。

○入村料（1台1日）
普通車（定員8名まで）　500円
中型車（定員25名まで）　1,000円
大型車（定員26名以上）　1,500円
○問合せ先　0779-64-1240(利用期間：4月～11月)

きょうがたけ
経ヶ岳



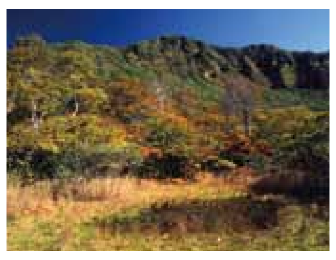
標高 1,625.2m

経ヶ岳は白山国立公園の南西部に位置する山で、白山よりも古くおよそ100万年前の火山活動によりできた山と言われています。形成当時は、現在の経ヶ岳よりも数倍大きかったと考えられていますが、その後の侵食作用により噴火口の南側が崩落し、現在の経ケ岳が形成されました。山頂の南西側の斜面はかつての火口壁で、大野市街地からまざまざとその様を見ることができます。また、標高1,340m付近にある「池ノ大沢」は、かつての噴火口跡であり、現在は湿原となっています。麓の阪谷地区には、噴火口崩落の際に泥流とともに運ばれた巨大な溶岩塊が、田園地帯に点在しており、この地域独特の風景を形作っています。

山名の由来は、一向一揆によって平泉寺が焼き討ちされた時にこの山頂に経文を埋めたことからと言われています。実際山頂から経筒が発見されて話題になったこともあります。

標高1,000m付近から上部には、ブナの原生林が広く分布しており、新緑と紅葉の時期には、自然が織りなす色彩豊かな表情を見せてくれます。更に上部の山頂付近では、典型的なチシマザサの風衝草原が広がっています。山頂は南岳と北岳に分かれ、痩せた釣り尾根で結ばれています。福井県内にピークがある山の中では最高峰というだけあって、山頂からの眺望はよく、白山連峰を間近に望むことができるだけでなく、大野盆地を見渡すこともできます。

登山コースは保月山コースと唐谷コースの2つ。共に登山口は広域基幹林道法恩寺線沿いにありますが、保月山コース側は5～6台の駐車スペースがある一方、唐谷コース側には駐車スペースがなく林道の路肩や空いているスペースを利用することになります。



登山ガイド

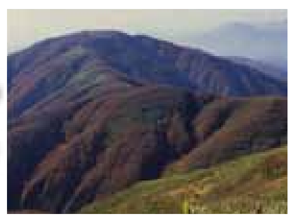
【保月山(ほづきやま)コース】（登り3時間40分　下り2時間30分）

- 登り口　広域基幹林道法恩寺線展望台付近　駐車場あり、トイレなし
  ※広域基幹林道が通行止めの場合、奥越高原青少年自然の家付近
- 交　通　北陸自動車道福井ICから車で約1時間20分
  東海北陸自動車道白鳥ICから車で約1時間20分
- コースガイド　保月山、杓子岳、中岳を尾根伝いに登るコース。途中2本の木が寄り添っている通称アダムとイブの木が登山客を迎えてくれる。保月山から杓子岳までは急な登りが続き、岩場の危険な箇所もあるが、杓子岳から中岳までは比較的ゆるやかで、初夏にはニッコウキスゲが咲き誇る。切窓から山頂まで続く急斜面では注意が必要である。

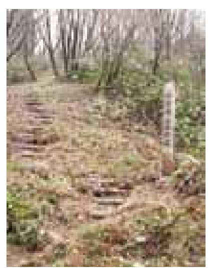
【唐谷(からたに)コース】（登り3時間20分　下り2時間30分）

- 登り口　広域基幹林道法恩寺線沿い（看板あり）駐車場なし（5～6台ほどのスペースあり）トイレなし
  ※広域基幹林道が通行止めの場合は唐谷コースからの登山はできない
- 交　通　北陸自動車道福井ICから車で約1時間20分
  東海北陸自動車道白鳥ICから車で約1時間20分
- コースガイド　唐谷川に沿って登るコース。途中の仙ヶ原には仏像が彫られた巨岩がある。唐谷川や歩きにくいゴロゴロした涸沢を渡る箇所は、雪解けの時期や雨が降った後は川が増水し大変危険であり、注意が必要である。標高1,340m付近の池ノ大沢は貴重な水場でもある。切窓で保月山コースと合流する。

げなんぽ
銀杏峰



標高 1,440.7m



大野市街地の南に位置する山。名前は、単純に「ぎんなんみね」とは読まず、とても特徴的ですが、「げなんぽう」「ぎなんぽ」「ぎなんぽう」と呼ぶ地元の方もいます。定かではありませんが、昔、山の中腹に銀鉱山があったことからその名がついたのではないかとも言われています。

コブシによく似たタムシバやツツジ、オオヤマレンゲなどが季節を追って咲きます。秋は紅葉で山が染まりそれは見事です。

山頂は、決して広くはありませんが視界を遮るものはなく、360度の眺めを楽しむことができます。目の前には荒島岳が大きく見え、その向こうには白山の雄姿を見ることができます。

銀杏峰の麓には宝慶寺いこいの森というキャンプ場や、曹洞宗の第二道場である宝慶寺があります。

登山コースは小葉谷コース、名松コース、中島コースの3つ。小葉谷コースと名松コースは「銀杏峰を愛する会」が銀鉱山の道を整備し、宝慶寺いこいの森というキャンプ場を起点に周回できるようになっていますが、それぞれ、キャンプ場から延びる林道を通って登山口の直前まで車で行くことも可能です。小葉谷コースは、急な登りがしばらく続きますが急斜面を登りきると視界が開け白山連峰をはじめ、大野市内の山が望めます。名松コースは急斜面や緩斜面があり、またブナやカエデの林の中を通るコースとなっています。途中、仁王の雰囲気を醸しだす「仁王の松」があります。

中島コースは平成19年に大野親岳会が整備を行なったコースです。登山口には駐車スペースがないため、国道157号沿いの雲川公園に駐車するとよいでしょう。 公園からはしばらく林道を歩きます。ブナ林やオウレン畑など見どころがたくさんあり登山客を楽しませてくれるコースです。

登山ガイド

【小葉谷(こばだに)コース】（登り3時間10分　下り2時間40分）

- 登り口　宝慶寺いこいの森　駐車場あり、トイレあり
- 交　通　北陸自動車道福井ICから車で約1時間10分
  東海北陸自動車道白鳥ICから車で約1時間10分
- コースガイド　小葉谷橋を過ぎると鳥居がある。しばらく歩くと「鉱山跡石垣」の標識があり、ここから急な登りが続く。「海抜1,300m」と書いてある標識を過ぎるとゆるやかな斜面になり、極楽平と言われる場所に着く。その後、緩やかな道を進むと山頂に着く。

【名松(めいまつ)コース】（登り3時間40分　下り２時間30分）

- 登り口　宝慶寺いこいの森　駐車場あり、トイレあり
- 交　通　北陸自動車道福井ICから車で約1時間10分
  東海北陸自動車道白鳥ICから車で約1時間10分
- コースガイド　急な登りや緩やかな登りがあるコースである。途中「仁王の松」を見ることができる。標高1,150mの前山を過ぎると、ブナ林やカエデの林の中を通りその後笹を切り開いた道になり山頂に着く。

【中島(なかじま)コース】（登り4時間　下り3時間）

- 登り口　雲川公園（国道157号沿い）駐車場あり、トイレなし
- 交　通　北陸自動車道福井ICから車で約1時間40分
  東海北陸自動車道白鳥ICから車で約1時間30分
- コースガイド　ブナ林やオウレン畑などが見られるコース。穏野ヶ平、正仏、烏帽子を経て山頂付近で名松コースと合流する。正仏は土手の上のような細長い平らな地形で、眺望がよい。冷たい湧き水ポイントもある。

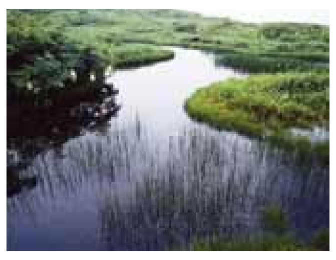
あかうさぎやま
赤兎山

標高 1,628.7m

赤兎山は福井県と石川県の県境にあり、白山国立公園の南西部に位置しています。山の形がうさぎのように丸みを帯びているため赤兎山と呼ばれるようになったのではないかという説があります。

山頂からは、白山や荒島岳、経ヶ岳、大長山などすばらしい展望が楽しめます。そこからやや下ったところには赤池とよばれる湿原が広がっています。赤池は尾瀬ヶ原と同じタイプの高層湿原で、県内では赤兎山にしかありません。夏になるとササユリやニッコウキスゲなどが咲き誇る美しい光景を楽しむことができます。湿原を通る登山道には木道が整備されています。貴重な自然環境を踏み荒らさないためにも、木道の上から鑑賞してください。また、この付近にある避難小屋も赤兎山の魅力のひとつ。晴れ渡った日には、その赤い屋根が、空を映しこんだ湿原の水面の青とその周りを覆う植物の緑とともに、特徴的な風景を形作っています。

大野市側から登るコースは鳩ヶ湯コースの1つ。登山口のある鳩ヶ湯温泉付近には駐車スペースがあまりないため、車を停める際には、県道を通行する車両の妨げにならないように注意する必要があります。鳩ヶ湯コースの他に、勝山市から登る小原コースがあります。林道が整備されており、林道終点まで車で行けば比較的手軽に登ることができるコースですが、林道を通行するためには、地域環境保護協力金が必要です。



登山ガイド

【鳩ヶ湯(はとがゆ)コース】（登り4時間　下り3時間）

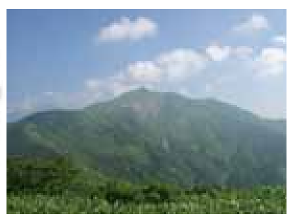
- 登り口　県道173号鳩ヶ湯温泉付近　駐車場なし、トイレあり
- 交　通　北陸自動車道福井ICから車で約１時間30分
  東海北陸自動車道白鳥ICから車で約１時間30分
- コースガイド　谷に沿って登るコース。県道173号の脇にある登山口からまずは鉄製の階段を登り、しばらく林道を登る。林道脇の登山口から登山道にはいる。急斜面を登り、途中涸沢を2箇所通過し、道がやや下りになったところを降りていくと、山頂からちょうど中間の地点であるたんどう谷に到着する。この先は増水時には岩が滑りやすいので注意が必要である。たんどう谷を越え、コースで一番急な登りを過ぎると尾根に上がり、ブナ林が広がり眺望も良くなる。最後の急斜面を登れば山頂に到着する。

その他

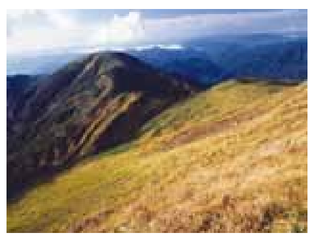
外来植物除去作業を行なっています！！

白山国立公園では近年登山者の増加等に伴い、高山・亜高山域において本来生息していないオオバコ、スズメノカタビラ等の低地性植物など、人為的に持ち込まれた外来植物の侵入が確認されています。そのため、少しでもこれらの影響を軽減するために赤兎山では平成23年8月に外来植物の除去作業を実施しました。今後もこの活動は行なっていく予定です。皆様も外来植物除去にご協力お願いいたします。

さんのみね
三ノ峰



標高 2,128m



白山国立公園の南西部に位置する三ノ峰。その名の由来は、越前・加賀・飛騨三国の峰という意味の「三峰」からという説や、岐阜県側の白山禅定道を順に一ノ峰、二ノ峰、三ノ峰と名づけられたという説があります。山頂からは眼前に大きく迫る白山や別山のほか、遠く北アルプスを望むことができます。しかし、その頂は福井県に含まれておらず、そこからやや南に下がった三ノ峰避難小屋付近のピーク（標高2,095m）が福井県で最も高い地点となっています。ここは「越前三ノ峰」と呼ばれ、地元の大野親岳会により命名されました。

2,000m級の山としては本州の最も南西に位置し、ここを南西限とするハイマツやグンナイフウロなどの高山性の貴重な植物が多く見られます。県内でも有数の高山植物の宝庫と言える三ノ峰。夏でも雪が残る「雪田」の付近では、ハクサンコザクラやクロユリなどのお花畑が広がります。

登山コースは上小池駐車場から入山します。三ノ峰は、かつては登山者を容易に寄せ付けない山でしたが、1968年の福井国体山岳競技の会場となったことを契機に登山道が整備されました。登山道沿いには、赤兎山への分岐である六本檜付近から山頂にかけて自然植生がよく残っており、ブナ林からダケカンバ林、風衝低木林、亜高山高茎草原へと垂直的に植生が変化していく様子がよくわかるのも特徴の1つです。

登山ガイド

【小池(こいけ)コース】（健脚向け、登り4時間10分　下り3時間）

- 登り口　上小池駐車場　駐車場あり、トイレあり
- 交　通　北陸自動車道福井ICから車で約1時間40分
  東海北陸自動車道白鳥ICから車で約1時間40分
- コースガイド　急な登りが何箇所もある健脚向けのコース。登山口の最初から急な階段を登る。緩やかな登りを繰り返すブナの自然林の中を六本檜へと進むと、再び急な登りが始まる。しかし、尾根を歩くので、見晴らしが良く、夏には道沿いに咲くニッコウキスゲなどの美しい植物に疲れが癒される。剣ヶ岩を越えるあたりからは高山植物も見られる。尾根の登りを過ぎると三ノ峰避難小屋が見えてくる。避難小屋から山頂までは10分ほどで到着。

その他

神秘的な池「刈込池」

白山国立公園の南部にある刈込池は、周囲約400mの高原性の湖沼です。その昔、白山を開山した泰澄大師が白山山頂付近に棲んでいた大蛇を刈りこんで封じ込めたという伝説から刈込池と名付けられたと言われています。荘厳な雰囲気が漂う鏡面のような水面に秋になるとモミジ、ナナカマド、カエデ、ブナ等の紅葉が映え何とも優美な光景が広がり、毎年多くの観光客が見物に訪れます。

- 交　通　北陸自動車道福井ICから車で約1時間30分
  東海北陸自動車道白鳥ICから車で約1時間30分
- コースガイド　上小池駐車場から徒歩約50分。打波川沿いの上流側から登るコースと下流側から登るコースがある。上流側から登るほうが比較的楽である。下流側は急な階段等があるが、原生林の静寂な道を通ることができ、森林浴には最適である。下りは40分

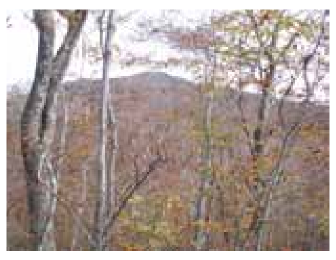
うばがたけ
姥ヶ岳

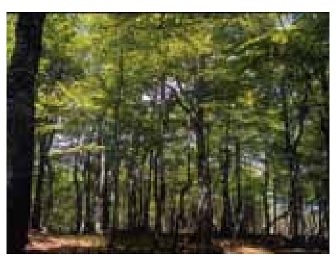
標高 1,453.6m

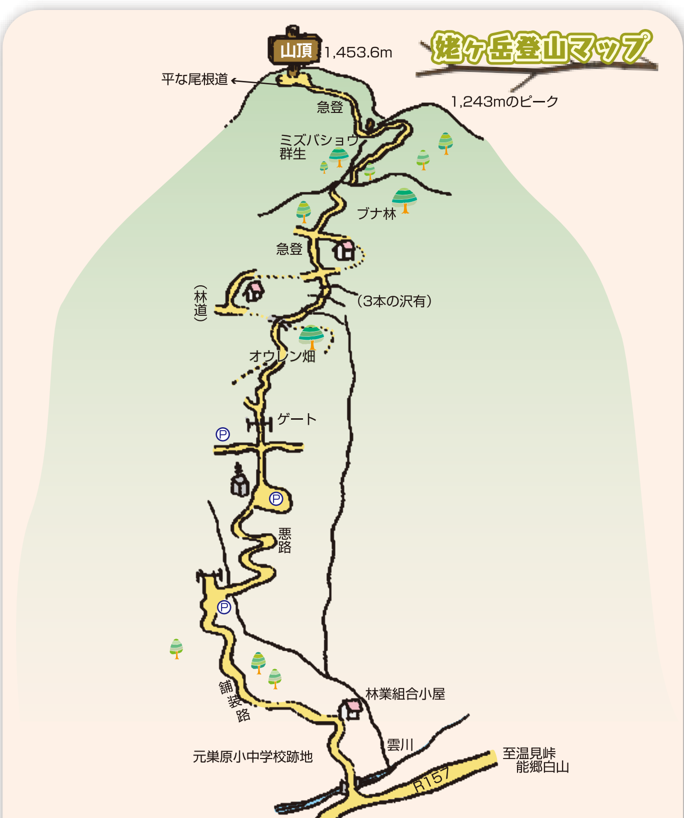
姥ヶ岳は真名川の上流に位置し、その流れを笹生川と雲川に分けるように座しています。名の由来はその名のとおり昔、山頂近くの洞穴に山姥が住んでいたという伝説からきています。平坦な山稜が南北に伸びる山容が特徴です。この山の北西に向かって広がる高原状の斜面は平家平と呼ばれ、かつて平家の落人が住んでいたという言い伝えが残っています。

山頂からは白山や岐阜県境の山々の連なりや、眼下には笹生ダムが望めます。南東部の鞍部や谷間周辺には、ブナ、ナンゴクミネカエデ、マルバマンサクなどの低木が多く見られる湿地があり、その中央部や谷川沿いには、多数のミズバショウが群生しています。その規模は県内でも最大級です。雪解けのころには、待ちわびた春の訪れを祝うかのように咲く真っ白い花々を登山道からも見ることができます。

登山コースは平家平を通るコースです。オウレンやブナ林、ミズバショウの群生地等美しい自然に触れ合うことができます。国道157号を雲川沿いに進み、雲川ダムの手前の左にある巣原橋を渡ります。橋のたもとに立つ平家平の標識が目印です。







登山ガイド

【登山コース】（登り2時間30分　下り2時間）

- 登り口　国道157号から巣原橋を渡り林道を進んだ無人雨量観測所付近
  駐車場なし（10台ほどのスペースあり）、トイレなし
- 交　通　北陸自動車道福井ICから車で約1時間40分
  東海北陸自動車道白鳥ICから車で約2時間
- コースガイド　無人雨量観測所付近のゲートまで車で行くことができる。ゲートからはオウレン畑の中、林道を数回横切っては登る。その後、小さな涸れ谷を渡ると急な登りになる。美しいブナ林の中を歩き、小さな沢を越えるとまた急斜面にはいる。ミズバショウの群生地には広い稜線に出てしばらく歩くとたどり着く。所々急な登りはあるものの、山頂まで緩やかな斜面が続くので比較的登りやすい。

その他

平家平

平家平は源平合戦に敗れた平家の落人が、かつて集落を築いたと伝えられているところで、ブナ・ミズナラなどの広葉樹を主体とした原生林が広がっています。とくにブナ林は樹齢40年から100年程度のものが約1万本40haにわたり密生しています。また、樹齢400年以上のトチの巨木は周りの木々の中でもひときわ力強くそびえ、神秘的な雰囲気を醸しだしています。このトチの巨木は大野市の天然記念物に指定されています。なお、平家平は平成８年に自然環境の保全を目的に大野市が購入しました。

へいけだけ
平家岳

標高 1,441.5m

平家岳は九頭竜ダムの上流からさらに面谷川上流の福井県と岐阜県の県境近くに位置する山です。福井県内で最も奥深く、厳しい山のひとつです。山また山が重なり、谷筋からは山容がほとんど望めません。かつては谷をつめて登る方法しかありませんでしたが、九頭竜ダムの完成と共に送電線の巡視用山道として面谷からの登山コースが整備され、それ以来、多くの登山者が訪れるようになりました。その昔平家の落人が隠れ住んでいたと伝えられています。また、麓には大正の時代まで鉱山街として栄えた面谷鉱山跡地があります。鉱山跡地に現在も残る廃坑跡の朽ちた杭や黒ずんだ石組みからは、往時の面影が偲ばれます。

山頂からは遠くを見やれば、白山や荒島岳、能郷白山など福井県の山々が望める一方、周辺では、季節によってはシャクナゲなどの花々を見ることができます。

登山口へは、国道158号から九頭竜ダムにかかる箱ヶ瀬橋（夢のかけはし）を渡り、面谷川沿いを走る林道を面谷鉱山跡地へと向かいます。林道は未舗装なので注意が必要。平家岳登山口の標識がある付近に車が数台駐車できるスペースがあります。

登山ガイド

【登山コース】（登り3時間30分　下り2時間30分）

- 登り口　面谷鉱山跡地を過ぎた箇所　駐車場なし（5～6台分のスペースあり）、トイレなし
- 交　通　東海北陸自動車道白鳥ICから車で約40分
- コースガイド　登山道の多くを送電線の巡視路を通るコース。登山口すぐ沢を渡り細い尾根に入ると急な登りが続く。その後ほどなくして送電線の巡視路に合流する。巡視路をひたすら進み標高約1,340m付近から平家岳が見えてくる。最後の鉄塔を後にすると、美濃平家へと続く巡視路と平家岳への登山道の分岐にたどり着く。井岸山を登りその後一旦下るがまた急な登りがある。雨天時滑りやすいので注意すること。この急斜面を登ると山頂まで緩やかな道が続き山頂に到達する。

その他

和泉地区はキャンプ場の宝庫です！

○九頭竜国民休養地(オートキャンプ場)	福井県大野市角野14-3	0779-78-2326
○九頭竜保養の里(コテージ棟)	福井県大野市下山63-2-4	0779-78-2536
○和泉前坂家族旅行村(キャンプ場)	福井県大野市朝日前坂	0779-78-2248
○下半原ふれあい湖畔(九頭竜レイクサイドモビレージ)	福井県大野市下半原	0779-78-2408
○オートキャンパーズくずりゅう(キャンプ場)	福井県大野市上半原	0779-78-2345

※いずれも冬期間は閉鎖しています。利用料金等は各キャンプ場にお問合せください。

日本有数の巨大人造湖「九頭竜湖」

岩を積み上げたロックフィル式ダムの建設によってできた人造湖で、その大きさは十和田湖に匹敵するほどです。湖面の周りは豊かな自然に囲まれ四季折々の美しさを見せてくれます。